

《小学校低学年の部》

「わたしのできること」

有田市立宮原小学校 2年

貝野 ひいの 心咲 みさき さん



わたしには、ひいおばあちゃんがいます。今年90さいになりました。いっしょにすんでいないけど、山田はらのおうちでおいちやんたちとすんでいます。

でも、かいごしせつへ行っているので、会うことは少なくなりました。ひいおばあちゃんは、いろんなことをわすれていくびよう気だそうです。いえにかえってきたとき、ママがひいおばあちゃんに、

「わたしの名前わかる？」

と聞いたとき、ここにこわらってこたえていました。おにいちやんの名前もこたえられたけれどわたしの名前はこたえられませんでした。どうしてだろうとかなしくなりました。

ある日、夕ごはんをたべたのにまたいすにすわってたべようとする時があつてみんなに

「もうさつきたべたでしょ。」

と言われました。ひいおばあちゃんは、ふしぎそうなかおをしてへやにもどっていききました。わたしは、かなしい気もちでいっばいになりました。わたしとおにいちやんが話してるのを見てにこにこしているのに、そんな時は、ちがう人みたいでした。

ママは、わたしやおにいちやんがひいおばあちゃんに、話しかけることが、ひいおばあちゃんの一ばんよくきくおくすりだと言います。だから、たくさん話をしようと思います。ひいおばあちゃんのびよう気がよくなつてほしいからです。わたしの名前も思い出してくれると思います。

わたしにできることは何だろう。会うことが少なくなつたけど、ひいおばあちゃんがいえにいる時、いっばい話そうと思います。いつまでもわらって元気できてほしいからです。